



びすけっと

232号—2022年4月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんとつながれるように…
Instagram始めました！

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



日々の気温差が激しく、暖かくなってきたと思っていたら、急に気温が下がったり…。でも日差しは、少しずつ強くなってきているように感じますね。新学期が始まって忙しくなりますが、体調を崩さないように気をつけていきましょう。

🌸ドナルド・マクドナルド・ハウス誕生 20周年記念 FCC フォーラム感想

2021年12月10日・11日に、同財団主催のFCC（ファミリーセンタードケア）フォーラムが開催され、一部を視聴しました。びすけっとが活動を始めて今年で22年目、同じような時期にドナルド・マクドナルド・ハウスが誕生したのだと思うと、感慨深いものがあります。

当時私は自分自身の体験から、難しい病気と闘うご家族には支援が必要だと痛切に感じていました。初めて立ち向かう次々と押し寄せてくる試練にどのようにして対処したらいいのか、それを助けてくれる人はいるのか何もわからない状態でした。闘病中、病院の方々はもちろん、一緒に考えてくれたり手を差し伸べてくれたりする人はいましたが、私自身はいつぱいいつぱいの状態でいつ倒れるかギリギリのところを闘っていました。

早くから支援の必要性に気付き、活動を始めていた方々がいらっしゃったことを後から知りました。しかし当時はまだ、子どもの命を助けられるかどうかでさえ厳しい時代だったので、家族の支援までは前面に出して考えられなかったのかもかもしれません。

それから20年余りの間に医療は進歩し、闘病の環境も変わりました。家族がよりよい状態で病気の子どもと関われる環境が重視されるようになり、病気の本人だけでなく家族も支援しようという動きができてきたのです。例えば国のがん対策推進基本計画にも「社会連携に基づくがん対策・がん患者支援」の中で「積極的な患者・家族支援を実践することが必要である。」と謳っています。家族を支えることが子ども達の闘病を支え、ゆくゆくは日本の未来にも繋がっていきます。ドナルド・マクドナルド・ハウスもその一端を担っているのだと思いました。

埼玉県立小児医療センターが新都心に移転して病院と同じ建物内にマクドナルド・ハウスができるまで、恥ずかしながら私はハウスについてほとんど知りませんでした。今回のフォーラムを視聴し、昨年はさいたまハウス5周年記念の取り組みにも協力させていただき、病気の子どもと家族を取り巻く環境の温かさに感動しています。ハウスの運営は寄付金だけで賄っていることも知り、支援の輪を広げていく過程で社会の理解を進める役割も担っているのだと感じました。

テレビで放映されたドナルド・マクドナルド・ハウスのCMもとても温かです。ハウスには温かいポテトやハンバーガー以上に温かい人々の心があるのですね。 (柳戸)

次回のびすけっとは、**5/10(火) 11:00～**
相談室B (2F 総合受付奥)

- ※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、
- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
 - ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、
来る前にインスタや
LINEで確認してね。

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子
〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5
TEL 049-271-4708 (留守電)
e-mail yanagido@t.zaq.jp

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!

